

政財界が一つになって世界に出る必要があります

理事長 西河洋一

各国の首脳や要人にお会いすることが出来、成果の多い海外訪問

4月28日から5月4日まで安倍総理の訪問団の一員としてロシア、中東ミッションに参加いたしました。訪問先ではビジネスフォーラムや晩餐会などの公式行事が分刻みで詰まっ
ていて自由な時間は殆どありませんでしたが、各国の首脳をはじめ要人と直接お会いする
ことが出来、成果の多い海外訪問でした。

ビジネスを通して両国間のパイプを太くする

ロシアでは、プーチン大統領と選挙で戦ったミハイル・プロホロフ氏と夕食を共にして、
意見交換をすることが出来ました。北方領土返還交渉も重要ですが、ビジネスを通して両
国間のパイプを太くすることの重要性を強く感じました。ウイン・ウインの関係があっ
てこそ、交渉のテーブルに着いた時、有利に展開することが可能になるのではないかと思
います。互いの信頼構築が必要です。

元首に対して表敬の意を示す

UAE訪問では、安倍総理とムハンマド皇太子と一緒に会場に入場する際に、日本側は
約半数しか起立せず、表敬の意を示さない人がいた一方、UAE側の経済界は一同に起立、
海外の元首に対しては、そのようなことは見られません。

「いかなる人材が集うとも、和がなければ成果は得られない。常に感謝の心を抱いて互
いに協力しあってこそ、信頼が培われ、真の発展も生まれてくる（松下幸之助）」という言
葉を思い出しました。

日本人の和の精神を大切にす

日本がグローバル社会で世界に貢献するには、日本人の和の精神を大切にし、政財界が
一つになって世界に出る必要があります。

以上